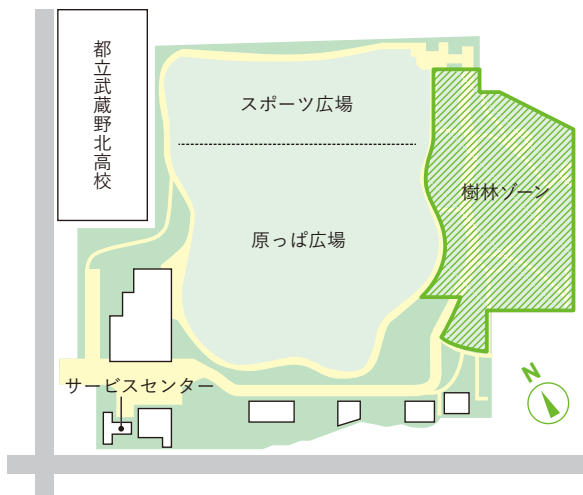


# 都立武蔵野中央公園に 新エリアがオープン

武蔵野市民の憩いの場である都立武蔵野中央公園の拡張工事が完了し、6月1日に公園の東側に新エリアがオープンしました。

平成元年6月1日に開園した都立武蔵野中央公園。広い園内には、原っぱ広場をはじめ、スポーツ広場やバーベキュー広場などさまざまなエリアがあり、休日などには多くの人々にぎわっています。

開園から30年、公園の東側が拡張整備され、今年の6月1日に新たなエリア・樹林ゾーンがオープンしました。緩やかな起伏の中で散策や休憩などが楽しめるエリアです。ぜひご利用ください。



## 戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代へ語り継ぐ

武蔵野中央公園は戦時中、戦闘機エンジンの工場である中島飛行機武蔵製作所があったことから9回にわたって米軍による空襲を受けました。この新エリアは当時、工場のほぼ中央に位置しており、9回の空襲の多くがここに集中して

いたといいます。工場内だけでも200名以上が犠牲となりました。

戦禍により犠牲になられた多くの方々の悼み、未来の子どもたちへ空襲のことを伝えるため、新エリアの樹林ゾーン内にある「円形広場」に5枚の説明板を設

置。工場の歴史や空襲の経緯などが写真とともに解説されており、その説明板の傍らには、かつてこの場所にあった工場地下道の鉄筋コンクリート床の一部も展示されています。



樹林ゾーンの  
「円形広場」



説明板